

1月19日(金)朝のスカッシュタイムで、校外学習の発表を行いました。日本と滞在していた国・地域の文化を比較し、クイズや動画などで誰もが楽しんで異文化理解を深めることができるよう工夫しました。本番では今までで一番よい発表ができていたと思います。今回の校外学習(事前学習～校外学習当日～事後学習～発表)を通して学んだことをこれからの学習に生かしていきましょう。

🌈スカッシュタイム🌈



▲発表待ちでドキドキ!



《答え》



◀手作りの動画やクイズで会場は盛り上がっていました!



この発表に向けての準備は2年生が中心となって進めてくれました。特に、実行委員長は常に全体を見て、担当の先生と相談しながら臨機応変に計画調整を行ってくれていたのが印象的でした。



1年生。来年はみなさんが引っ張っていく番です。どのような校外学習にしたいのか、ビジョンを描いていきましょう。

～保護者の方より～

親日の都市、大連

大連は19世紀に入ってから日本が統治したため、日本の銀行、ホテルなどの支店や鉄道会社が作られ、日本の商店街や町がありました。移り住んだ多くの日本人は、地元の中国人との関係に特に配慮したため、歴史的に大連の方々は親日的だったそうです。今では、日本語を学ぼうとする学生が中国全土から大連外国語大学に集まっています。町で日本語を話している私たち家族に、日本語で話しかけてくれた中国の方もたくさんいました。その方々はみなさん、日本のことが大好きなのです。私たちも自然と中国のことが大好きになりました。日本に対するデモが中国全土で発生しても、大連だけは唯一デモが起こらないのはそういった背景があるからなのです。